

許 可 番 号	倫-820
研 究 課 題 名	災害時に有益となる胸部外科領域におけるロボット支援下手術の learning curve の検討
診 療 科	呼吸器外科
研 究 責 任 者	平山 俊希
資 料 ・ 情 報 の 管 理 責 任 者	平山 俊希
研究の目的と方法	<p>2000年より DaVinci(ロボット)が世界で行われはじめ、2018年4月より本邦でも肺悪性腫瘍ならびに縦隔腫瘍のロボット支援下手術が保険収載され、手術件数は年々増加している。ロボット支援下手術の可能性の一つは遠隔手術である。これは医療過疎地での質の高い医療の均てん化に寄与することだけでなく、震災などによる医療過疎への医療支援も可能とする。今後の情報通信機器の発展や充実に伴い、近い将来現実となりえる。さらなる利点は、ロボット支援下手術の特徴は低侵襲であり、治療後の回復が早だけでなく、災害現場から患者を長距離で移動させることなく、精密で質の高い医療を早期に提供できることである。</p> <p>一方で、医師不足に関しても対策が必要である。全世界で偏ることなく、災害診療に関わる医療従事者を増やすこと、ならびに医療従事者への大きな負担を減らすためにも、組織的かつ継続的な災害医療支援対策が必要であり、特に手術が必要な患者への外科医の十分な供給は急務である。</p> <p>呼吸器外科領域におけるロボット支援下手術は、低侵襲手術として行われている胸腔鏡手術よりも習得経験症例が少ないと報告されているが、習熟にはどの程度症例数が必要か具体的な報告は少ない。災害時急増する胸部手術が必要な患者に対して十分な医療が提供できるように、ロボット支援下手術の learning curve と周術期成績を検討することを目的とした</p>
利用、又は提供する 試料・情報の項目	血液、検査データ、手術記録、術後合併書 等
研 究 対 象 者	ロボット支援下肺葉切除術が行われた症例
研 究 対 象 期 間	西暦 2019 年 7 月 1 日から西暦 2024 年 6 月 30 日の間
利用する者の範囲	当院のみで実施

個人情報の取扱いについて	使用するデータは、個人情報特定されないよう匿名化に十分配慮して扱います。 研究成果が公表される場合にも、患者さんが特定できるような情報が公表されることはありません。
お問い合わせ先	該当する研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報を利用しないでほしい等のご要望がございましたら、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。 順天堂大学医学部附属静岡病院 呼吸器外科 電話：055-948-3111(代表) 研究責任者：平山 俊希